

[chiba_13]

活動タイトル	「授業で使える環境プログラム」を見ての依頼授業
実施日	2017年10月30日
場所	札幌市立ひばりが丘小学校4年1組
対象数	40人

内容

札幌市環境プラザ発行のパンフレット「授業で使える環境プログラム」を見た小学校からの依頼を受けて4年生の出前授業を行いました。

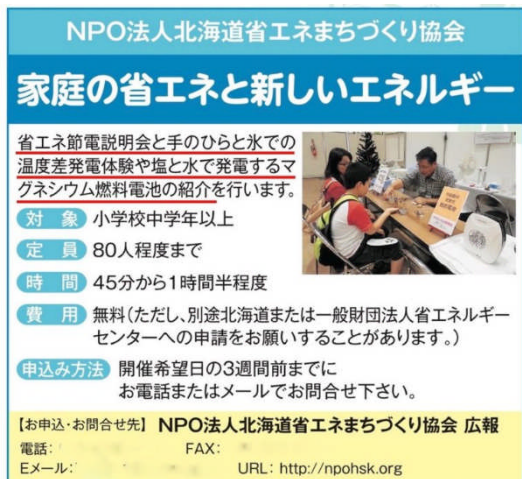
前半は省エネルギーセンター「省エネ・節電」プログラムです。地球温暖化のメカニズムの他、「クイズ」や「省エネの家と無駄遣いの家の違い探し」があるのですが、さらにオプションとして、「5分間シャワーを流しっぱなしにしたら2Lのペットボトル何本？」というクイズを出しました。最初は3本とか10本とか控えめな答え。しかし、そこは4年生。間違いを恐れず、どんどん発言し、正解以上の本数を言い出す子も出るぐらいです。エスカレートするところを止めて、正解と札幌市水道記念館の展示物写真で開設をしました。純真で、何事も前向きな意欲が小学生への授業の面白さかもしれません。(答えは最下段にあります) 後半は温度や光、圧力など身の回りにある微弱なエネルギーを使う発電技術「エネルギーハーベスティング」の紹介や、関連した発電床の披露。ペルチェ素子を使ったのひら発電を交代で体験。そしてマグネシウム燃料電池のLEDランタンの点灯を行いました。ランタンの点灯はただ塩水を入れるだけですが、やりたい人を募ると全員が手を挙げる、異常な状態でした。

小学4年生は知識の吸収力も高く、積極的で怖いもの知らず。やりがいがあります。いかに身近なことと感じさせ、興味をもたせる事ができるかが、毎回の課題でもあります。ちなみに費用。依頼者は無料です。ただし、省エネルギーセンターの「家庭の省エネエキスパート」をとった人が使うことができる、“無料派遣講師”の依頼をお願いしました。それで講師料を派生させることができます。

答え：ペットボトル30本(60L)

※15分で一般家庭のバスタブ(約200L)が1杯分近くになります。

実施写真等



NPO法人北海道省エネまちづくり協会
家庭の省エネと新しいエネルギー
 省エネ節電説明会と手のひらと氷での温度差発電体験や塩と水で発電するマグネシウム燃料電池の紹介を行います。
対象 小学校中学年以上
定員 80人程度まで
時間 45分から1時間半程度
費用 無料(ただし、別途北海道または一般財団法人省エネルギーセンターへの申請をお願いすることがあります。)
申込み方法 開催希望日の3週間前までに
お電話またはメールでお問合せ下さい。
【お申込・お問合せ先】 NPO法人北海道省エネまちづくり協会 広報
 電話: FAX:
 Eメール: URL: <http://npohsk.org>



授業で使える!
環境教育プログラム
出前授業 学校の授業に合わせた内容の授業を行います。
施設見学 環境教育施設の見学を行います。
 ささきまなびサワイル 環境教育施設の見学を行います。
 環境の省エネと新しいエネルギー 環境教育施設の見学を行います。

(授業で使える環境プログラム・全体)

